

平成25年度 事務事業評価調書（平成24年度実績分）

事務事業名		公共下水道ポンプ場長寿命化整備費			
所管部局	都市建設部	部局長名	海治 甲太郎	予算事業名	◎公共下水道ポンプ場長寿命化整備事業費
所管部署	下水道保全課	所属長名	山本 敏久	予算事業科目(平成25年度)	110102010292

1 事業の位置付け

2011 高知市 総合計画・実施計画 施策体系での位置付け					
施策の大綱	05	まちの環	施策取組方針	豪雨や地震などの自然災害に備えて、浸水対策や山がけ崩れ対策を進めるなど、被害の予防に努めるとともに、臨時ヘリポートや耐震性貯水槽などを備えた防災公園の整備を進めます。 また、被災後の速やかな復旧を可能とする体制整備を進めます。	
政策	28	安全安心の都市空間整備			
施策	83	災害に強い都市基盤の整備			
2 事業の根拠・性格			法定受託事務		
法律・政令・省令	下水道法第3条、下水道維持管理指針、下水道長寿命化支援制度実施要綱				
県条例・規則・要綱等					
市条例・規則・要綱等					
その他(計画、覚書等)					

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	公共下水道ポンプ場4機場（薊野・海老ノ丸・五台山・秦ポンプ場）			
意図	どのような状態にしていくのか	老朽化の進むポンプ場施設の機能を維持するために必要な、設備の改築更新を行うなかで、長寿命化支援事業制度を導入し、ライフサイクルコストを最小化しつつ、施設の延命化を図り、雨水排水対策を強化していくことで、降雨時に市民の生命と財産を守るとともに、快適な生活環境の確保に努める。			
手段	事業実施体制等	複数あるポンプ場の中から抽出した公共下水道ポンプ場4機場について、長寿命化計画に基づき長寿命化対策を含めたポンプ施設の整備工事を行う。	事業開始年度	平成21年度	
			事業終了年度	-	
活動内容	どのような事業活動を行うのか	<ul style="list-style-type: none"> <li>●長寿命化計画に沿った各ポンプ場施設の長寿命化工事の実施。</li> <li>●ポンプ・エンジンの長寿命化部品の取替。</li> <li>●ポンプ・エンジンの消耗部品等の取替。</li> <li>●ポンプ・エンジンの各部の点検・整備。</li> <li>●ポンプ・エンジン補機類の消耗部品取替・各部点検・整備。</li> </ul>			
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方		
	A	降雨時に浸水被害ゼロ	機器の信頼性の向上により、降雨時に浸水被害を起こさぬよう正常運転を行う。		
	B				
	C				

4 事業の実績等

			22年度	23年度	24年度	25年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	降雨時に浸水被害ゼロ	目標 8台	7台	6台	12台	「目標」欄の台数は、本事業により整備を実施した機器台数を示す。	
		実績 100%	100%	100%				
	B	目標						
		実績						
C	目標							
	実績							
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	161,702	157,739	165,000	300,000		
		財源内訳	国費 (千円)	80,851	78,869	82,500		150,000
			県費 (千円)					
			市債 (千円)	80,800	78,800	82,500		150,000
			その他 (千円)					
			一般財源 (千円)	51	70	0		0
	翌年度への繰越額 (千円)			220,000				
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	43,200	36,000	37,000	74,000		
		正規職員 (千円)	43,200	36,000	37,000	74,000		
		その他 (千円)						
		人役数 (人)	6.00	5.00	5.00	10.00		
		正規職員 (人)	6.00	5.00	5.00	10.00		
		その他 (人)						
総コスト=①+② (千円)		204,902	193,739	202,000	374,000			
市民1人当たりコスト (円)	604	573	597					
年度末住民基本台帳人数 (人)	339,130	337,875	338,397					
						総コスト/年度末人口		

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

本事業では、平成24年度時点で公共下水道ポンプ場22機場のうち、4機場（機器台数33台）を抽出し長寿命化工事を行っている。その結果、設備のライフサイクルコストを軽減したうえで信頼性を向上することができた。  
 今後も、長寿命化支援制度を利用した整備を継続的に実施することで、降雨時における排水機能を十分に確保していくことが可能であると言える。  
 課題としては、今後の長寿命化計画対象の機器台数も多大に存在するため、それらの整備を実行する人員の確保も、計画策定と共に継続的に必要となってくることが挙げられる。

6 所属長評価

評価項目		評価基準	1次	平均点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	5.0	本事業は「安心安全の都市空間整備」の重要な部分を担う事業であり、市民ニーズも高い領域にある。
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	A		
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	A	5.0	本事業により、整備を実施した機器に起因する浸水被害は発生しておらず、「機器の信頼性の向上」という事業目標は十分達成していると言える。 国の長寿命化対策支援事業の制度を導入し、事業承認を得てポンプ場設備の長寿命化工事を計画的に継続して実施している。
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	A		
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	A	5.0	従前より、ポンプ場設備の維持管理設計・施工管理業務を直営で行ってきたことで、ノウハウの蓄積による技術力の向上と継承が図られてきており、維持管理能力の向上につながっている。また、今後の大規模地震・津波対策においても、下水道の速やかな復旧に向けては、職員の対応力・技術力が必須となることから、事業形態としては現在の手法が望ましく、アウトソーシングのメリットは少ないと考えている。 本事業の目的はポンプ場設備維持管理費の低コスト化であり、効率化は図られている。
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	A		
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	A	5.0	市民の生命・財産を守るための事業であり、公平性は保たれている。
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	A		
総合点	20.0	総合評価	<input checked="" type="radio"/> A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) <input type="radio"/> B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) <input type="radio"/> C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合) <input type="radio"/> D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 部局長評価

総合評価	評価理由・今後の方向性等
<input checked="" type="radio"/> A 事業継続	1次評価のとおり
<input type="radio"/> B 経費削減に努め事業継続	
<input type="radio"/> C 事業縮小・再構築の検討	
<input type="radio"/> D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項

(9月市議会定例会建設常任委員会 平成25年9月20日)  
 ・公共下水道ポンプ場長寿命化整備は、南海トラフの巨大地震による長期浸水対策として、今後も必要である。